

大和町三丁目障害者施設地域説明会記録

日時 令和5年3月16日(木) 19時00分から19時55分まで

場所 大和区民活動センター2階 洋室1

参加者 地域住民 5名

社会福祉法人中野あいいく会 3名

株式会社新環境設計 2名

中野区障害福祉サービス担当課長、障害者施設係長

1 内容

(1) 整備運営事業者の紹介

区より資料を基に選定結果について報告（障害福祉サービス担当課長）
社会福祉法人中野あいいく会理事長より挨拶

(2) 整備後の施設概要説明

株式会社新環境設計より資料を基に説明

(3) 今後の整備計画及びスケジュールについて

株式会社新環境設計より資料を基に説明

(4) 質疑応答等（要旨）

① 質疑応答

Q 小さい子どもがいるので、解体工事のアスベストが一番の不安要素。行政が周知しないケースもあるので、周知してもらえて良かったと思っている。アスベストは静かな時限爆弾で、撤去時に飛散しないと言っても安全のために子どもに防塵マスクをつけさせた方がいいのか。設計監理がこれからなので、まだ後のことになるが、入札を行うと思うが、取り扱える業者を慎重に選んでほしい。

A（設計会社）アスベストのことは、入札要件に盛り込んで、確実に対応する。

Q 解体工事中の大型車両について、すぐそばに小学校の通学路がある。ウインカーを出さずに曲がるということもある。道交法違反で、事故につながる。重々対応していただきたい。

A（設計会社）工事車両のルートは二通り検討している。早稲田通り沿いから進入する経路と、大和中央通りから進入するルートがある。距離が短い早稲田とおりからのルートを主に使うことになるが、鉄骨や特殊重機を運搬する際は大きい車両になるため、大和中央通りからのルートになると思う。ガードマンは必ず付けて安全管理は充分に行う。業者決定後、説明会で対応を伝える。

Q 建ぺい率、イメージで建築面積はどれぐらい増えるのか。高さは変わらないのか。

A（設計会社）横幅が少し増えて多少大きくなっている。今の建物は2階建てで、新設する建物は3階建て。高さが10メートル規制の地域で、現在は建屋の部分が3階の高さにあり、その高さとは変わらない。今の建物の1階部分で、北側の貼り出している部分が駐車場になり、道路側か

らは奥まった位置になる。面積は、3階建てにする分広くなる。

外構については、中野区の設置した万年塀は補強されているが、全部撤去し、新しいフェンスを設置する予定。西側の（隣家の）ネットフェンスが設置されている範囲についても新たに設置する予定。話し合いをして決めたい。

Q 外構についてどんなイメージか。目線が合うときまずい。

A（運営事業者）西側の（防災行政無線移設場所の）隣家が設置するフェンスと同様のものを考えている。

Q 西側のフェンスを見ていない（ため、イメージが湧かない）。

A（設計会社）高さは1.5メートルから1.8メートルを検討している。あまり高いとうっとうしいと思う方もいるので、相談したい。

（区）設計図の配置をみると、家が面している東側は、階段やエレベーターなどが配置され、活動室の開口は西側に向いている。常に人がいる場所ではなくなる。

Q アスベストの飛散量をモニタリングできるらしいので、計測結果を連絡してもらえると安心である。

A（設計会社）今まで経験がないので、技術的に出来るか、方法があるかないかも調べる。

Q 地域の缶やペットボトルのリサイクル回収は、敷地内に置かさせてもらっていた。工事中はどうなるのか。

A（区より設計会社へ）敷地内にスペースを確保してもらうことができれば区としては有り難い。

（設計会社）仮囲いの設置位置を下げ場所を設けることできると思うので検討する。

（運営事業者）新しく施設を開いたときには（集積場所を）また設ける。

Q 再整備後も設けてもらえるのか。

A（運営事業者）地域に貢献するために、設ける。

② 設計会社より補足説明

建設工事時の音は低音量の最新機器を使用する、防音シートで囲う等で軽減できるが、解体工事時、どうしても振動が回避できない。壁に亀裂が入る等が考えられなくもない。のちのち工事に起因する物かどうか保険会社との内容に影響してくるため、万が一に備え、事前に第三者機関による家屋調査を実施する。基本的には隣接した家屋と道路の対面等の家屋が対象になる。